

平成31年（2019年）2月8日
健康危機管理課

麻疹（はしか）患者の発生について

平成31年（2019年）2月8日（金）、上天草市内の医療機関から天草保健所へ麻疹疑いの届出があり、県保健環境科学研究所で検査を行ったところ、麻疹陽性であることが判明しました。

県内で麻疹患者が確認されたのは、平成30年（2018年）11月以来です。

1 患者の概要

30歳代 男性 自営業

海外旅行歴あり（1月18日～26日 スリランカ、モルディブ）

※ 当該旅行中に患者が感染したことを確認したものではありません。

予防接種歴あり（平成12年（2000年）1回）

2 患者経過等

2月 4日（月） 発熱、上天草総合病院を受診（午前中）

2月 6日（水） 高熱、上天草総合病院を受診（夜間救急外来）

2月 7日（木） 発疹出現

2月 8日（金） 上天草総合病院を受診（午前中）

同病院が天草保健所に麻疹の発生届を提出

同日夜、県保健環境科学研究所の検査にて麻疹陽性と判明

同病院に入院

【注意事項】

- ・ 麻疹の感染性のある期間は症状出現前日から解熱後3日間とされています。
- ・ 高熱や発疹等の症状から麻疹が疑われる方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。
- ・ 受診の際は、公共交通機関等の利用を避けてください。
- ・ 必要なこと等ありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

3 医療機関の皆様へ

- ・ 発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻疹の予防接種歴の確認等、麻疹の発生を意識した診療をお願いします。
- ・ 患者（疑い含む）は、個室管理を行う等、麻疹の感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。
- ・ 臨床症状等から麻疹と診断した場合には、速やかに保健所へご連絡ください。

（裏面あり）

4 麻疹の症状等

- ・ 感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後、39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。
- ・ 感染する時期は、発症の1日前から解熱後3日後までと言われており、感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、感染力は非常に強いと言われています。

【お願い】

- ・ 報道機関各位におかれましては、感染症法の精神に基づき、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないよう、各段のご配慮をお願いいたします。

熊本県健康福祉部健康危機管理課
感染症・新型インフルエンザ対策班
担当：山田（崇）、吉岡
電話：096-333-2240（直通）
（県庁内線：7080、7082）